



六本杉

【教育目標】 ○ 創造 ○ 共生 ○ 健康

地域の中で幸せに生きる力を育む
地域運営学校(コミュニティ・スクール)

八王子市立いずみの森義務教育学校
学校評価(中間)結果報告号

(令和8年9月24日発行)

学校評価(中間)の結果報告

統括校長 泉澤 太

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、1学期に行いました学校評価に対する結果をお知らせいたします。肯定的なご意見をいただいたことは今後も継続し、ご指摘いただいた部分については真摯に受け止め、今後の本校の教育活動の改善に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1 アンケートについて

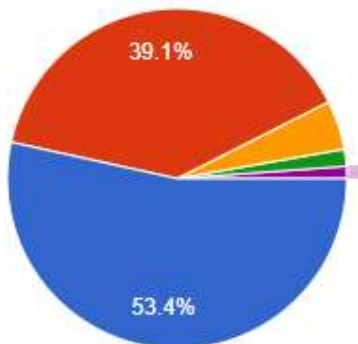
【実施期間】6月30日(火)~7月10日(金)

【回答数・率】685件・48%

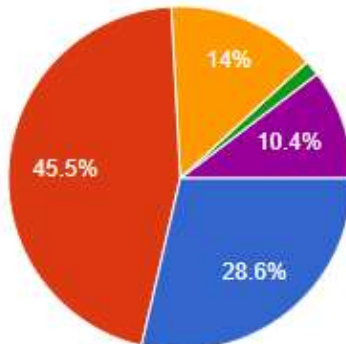
2 アンケートの結果・見解

■あてはまる ■ややあてはまる ■ややあてはまらない ■あてはまらない ■わからない(判断できない)

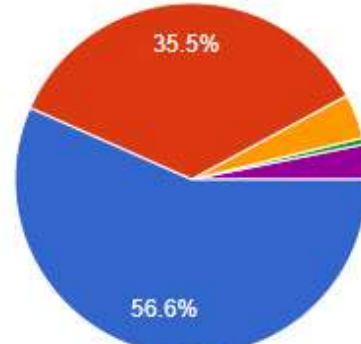
1 学校の教育目標「創造、共生、健康」を知っている。



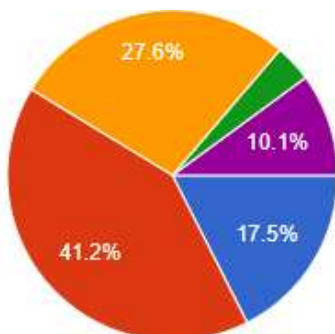
2 お子さんは学校生活を通して、誰かの役に立っていると感じている。



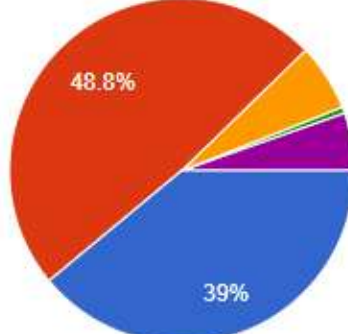
3 学校は、教科間や領域の内容をつなげた授業、異学年をつなげた授業を行っていることを知っている。



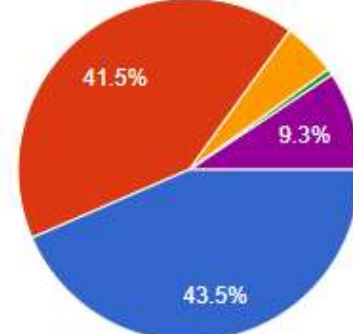
4 お子さんは、学校生活を通して、地域社会に貢献しようとする意識が育っている。



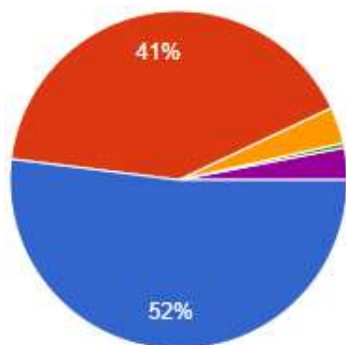
5 お子さんは授業や行事を通して、一人ひとりの違いを認め、尊重しようとする意識が身についている。



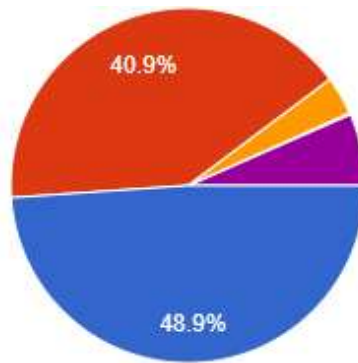
6 学校は、行事(児童・生徒会選挙、職場体験、福祉体験、保幼小連携等)において社会参画の意識を醸成している。



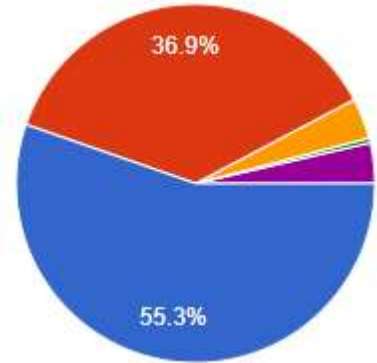
7 学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。



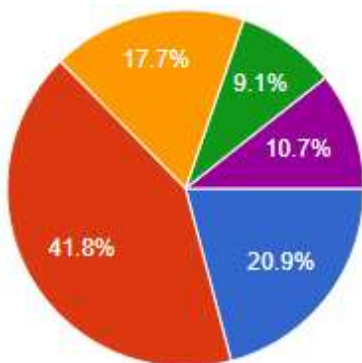
8 学校は、児童・生徒に自己の役割と責任を果たすように指導を行っている。



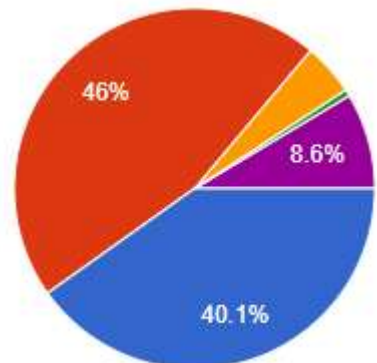
9 学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。



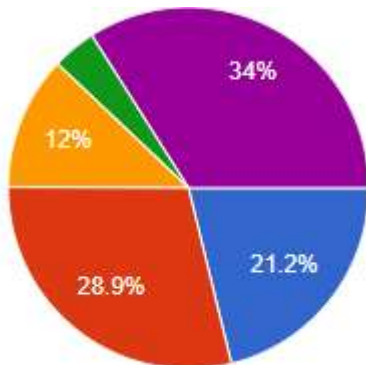
10 児童・生徒は、ボランティア活動や地域の活動・行事に参加している。



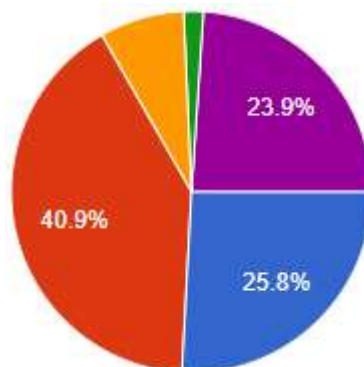
11 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。



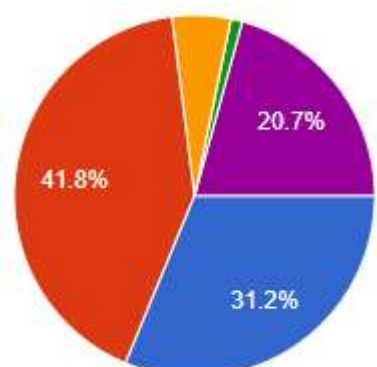
12 学校の部活動は活発に活動している。



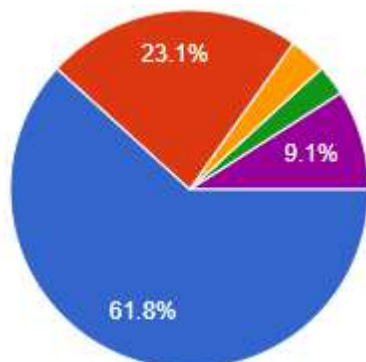
13 教職員は子どもの声を取り入れた教育活動を行っている。



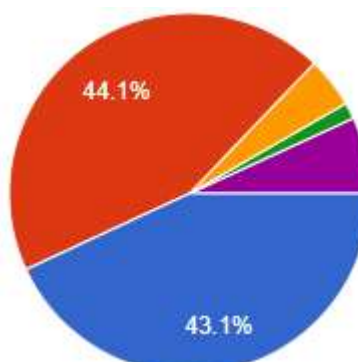
14 学校は、学習活動に対する評価は適切・公平である。



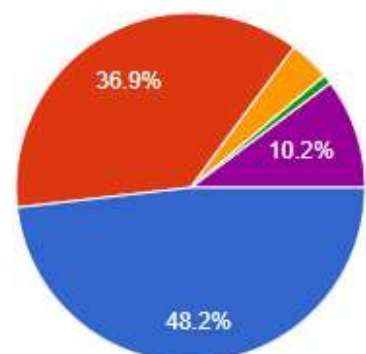
15 学校が力を入れて行っている取り組み(教科担任制、英語科・算数数学科における少人数授業)について知っている。



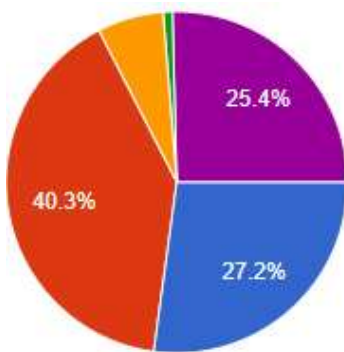
16 学校は、子どもが学習しやすい環境の整備に取り組んでいる。



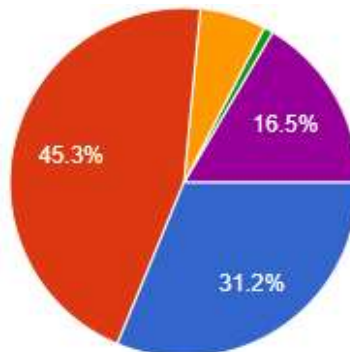
17 学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。



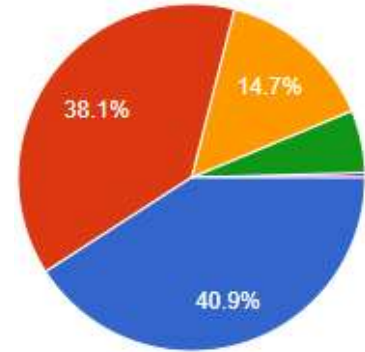
18 学校は Output 型の学習(話し合いや教え合い活動など)を重視して取り組んでいる。



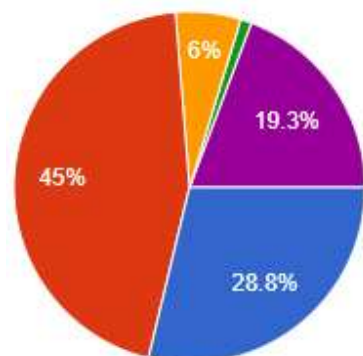
19 学校は子供にとってわかりやすい授業をしている。



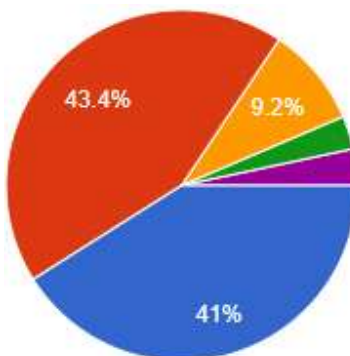
20 お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。



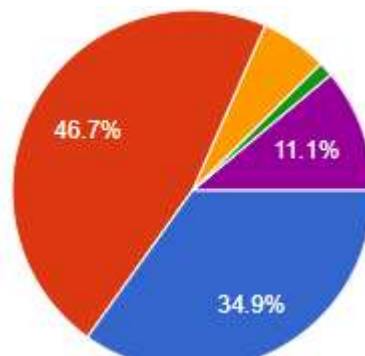
21 学校は思考力・判断力・表現力を育む授業をしている。



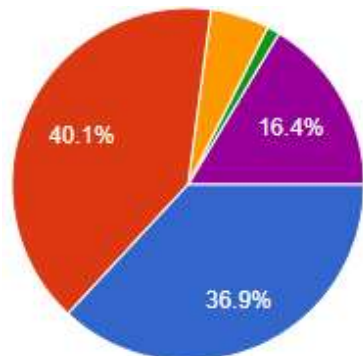
22 お子さんは学校生活(授業・行事・部活動など)に満足している。



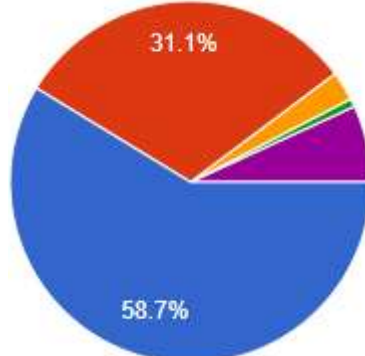
23 学校は、教育相談を中心に児童・生徒や保護者からの相談を受ける機会を十分に設けている。



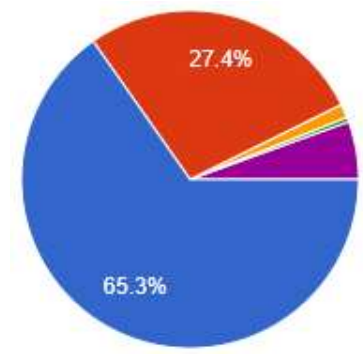
24 学校は、いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。



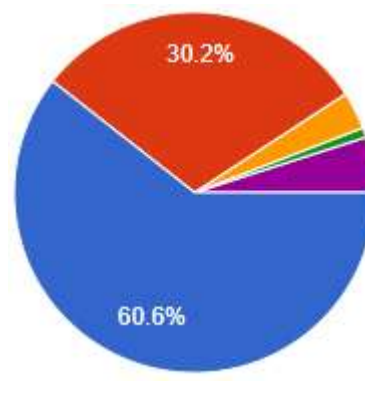
25 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や働き方等についてのキャリア教育を行っていることを知っている。



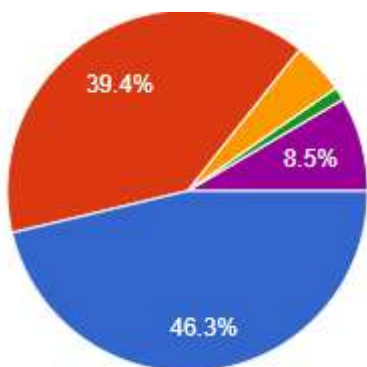
26 学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。



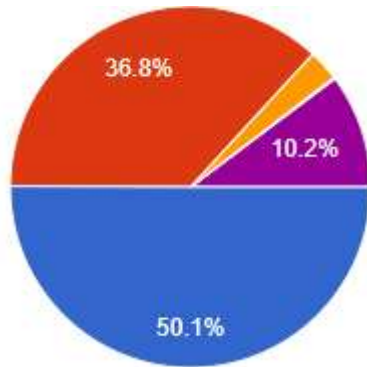
27 学校が、委員会活動を中心にSDGsに関わる取組を行っていることを知っている。(ペットボトル回収・カイロ回収、標準服・学用品リサイクル等)



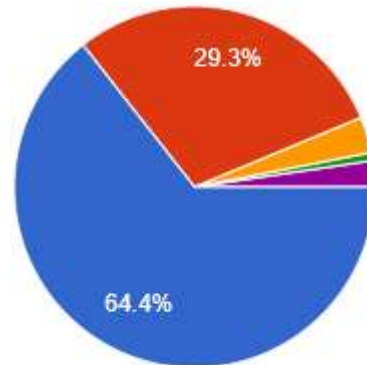
28 教職員は子どもを大切にした教育活動に熱心に取り組んでいる。



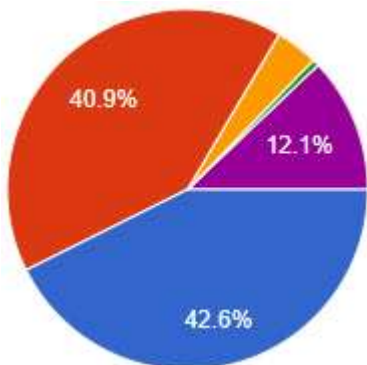
29 学校は、義務教育 9 年間で系統性かつ連続性をもって切れ目なく学校経営を行っている。



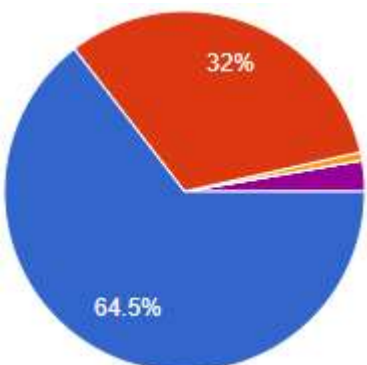
30 学校は、異学年で行う本校の特色ある取組（いずみの森大運動会、いずみの森フェスティバル、わくわく清掃、縦割班活動など）を充実させている。



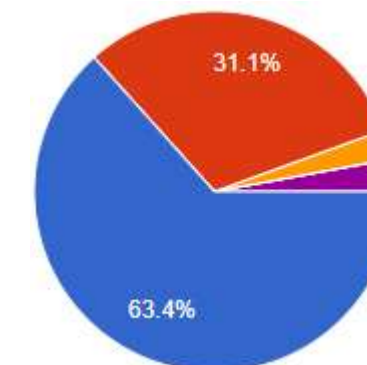
31 地域運営学校として、家庭・地域との調和を大切にし、児童・生徒が健やかに成長するための学校経営を行っている。



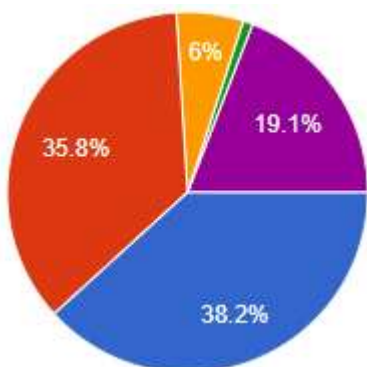
32 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。



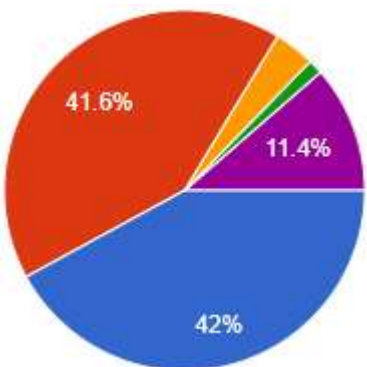
33 学校は、地域に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。



34 学校は、教職員の協力体制がしっかりしている。



35 教職員は社会のルールを守ることをはじめとした、児童・生徒の生活指導に熱心に取り組んでいる。



【各設問の回答割合に関する分析】

①昨年度より肯定的な評価が増えた設問（3%以上）

No.	設問	増加量(回答割合)
25	子供の生き方や働き方等についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	+3.9%(89.8%)
26	特別支援教育（特別な支援を必要とする子供に対しての教育）に取り組んでいる。	+5.5%(92.7%)

②昨年度より肯定的な評価が減った設問（3%以上）

No.	設問	増加量(回答割合)
11	子供が自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	-3.3%(86.1%)
16	学校は、子供が学習しやすい環境の整備に取り組んでいる。	-4.1%(87.2%)
24	いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	-7.5%(77.0%)
30	学校は、異学年で行う本校の特色ある取組を充実させている。	-4.2%(93.7%)
31	地域運営学校として、家庭・地域との調和を大切にし、児童・生徒が健やかに成長するための学校経営を行っている。	-4.2%(83.5%)

③肯定的な回答が70%を超えていない設問

No.	設問	回答割合
4	お子さんは、学校生活を通して、地域社会に貢献しようとする意識が育っている。	58.7%
10	児童・生徒は、ボランティア活動や地域の活動・行事に参加している。	62.7%
12	学校の部活動は活発に活動している。	50.1%
13	教職員は子供の声を取り入れた教育活動を行っている。	66.7%
18	学校は Output 型の学習を重視して取り組んでいる。	67.5%

④「わからない(判断できない)」の割合が高い設問（20%以上）

No.	設問	回答割合
12	学校の部活動は活発に活動している。	34.0%
13	教職員は子供の声を取り入れた教育活動を行っている。	23.9%
14	学校は、学習活動に対する評価は適切・公平である。	20.7%
18	学校は Output 型の学習を重視して取り組んでいる。	25.4%

【学校の見解】

- ・今回アンケート項目を 35 問に増やしました。（昨年度は 16 問）①、②については昨年度と同じ内容の質問についての分析です。【設問 24】「いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる」では 7.5%減少しています。学校では、毎週水曜日に学校いじめ対策委員会を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組んでいるところですが、保護者への理解はまだ低い結果となりました。引き続きすべての児童・生徒が安心して登校できるように、保護者・地域、関係機関との連携を深め、組織として対応してまいります。
- ・各設問の回答傾向は、肯定的な回答が 70%を超えた項目は 35 問中 30 問と、本校の教育活動について概ねご理解いただけていることがわかります。
- ・③「肯定的な回答が70%を超えていない設問」については、普段の学校生活を見ていない保護者の方々には具体的に伝わりにくいところがあることがうかがえます。学校では、子供たちの変容が見えるように、学校公開で直接参観いただくだけでなく、日頃の活動を学校ホームページ、学校だより等を活用して今後も発信してまいります。
- ・④「わからない（判断できない）」の割合が高い設問」は、肯定的な回答が低かった設問と同じ設問があったので、より具体的にわかりやすく、例えば【設問 13】「教職員は子供の声を取り入れた教育活動を行っている」に

については学年だより等で活動の中での子供の声を載せる、【設問 18】「学校が Output 型の学習を重視して取り組んでいる」については学校だよりや学校ホームページで説明していく努力を続けてまいります。

- ・今年度の学校経営の柱となる、【設問 18】「学校が Output 型の学習を重視して取り組んでいる」については、1 学期はまず様々な教科で全教員が実践してまいりました。具体的には授業の中に自分の考えを相手に伝える場面を作りました。2 学期以降は、より分かりやすく相手に伝えるために ICT を効果的に使い Output 型の学習の質の向上を目指し、校内研究を通して全教員で取り組んでまいります。
- ・今回アンケートの回収率が 48%でした。学校評価は、よりよい教育活動に向けてとても大切です。次回 11 月予定のアンケートでは、より多くの方からのご意見をいただき、回収率が 70%以上になるよう、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

3 自由意見に対する学校の見解

・お知らせの内容が説明不足と感じる時があります。

→引き続き、ホーム&スクール、学校ホームページ、学校だより、学年だより等で、丁寧に説明してまいります。

・SDGsの取組の勉強をしているわりには、やっていることが違うように感じられる。

(運動会のはちまきの使い切り、新 1 年生の文房具一式購入等)

→学校で購入する教材教具につきましては、よく吟味してお願いするとともに、いずみの森協働本部とPTA本部が行っている学用品リサイクル等を紹介していきます。

・風邪などが流行る時期に換気をしてほしい。

→休み時間の換気を呼びかけます。

・下校時ゲリラ豪雨や、台風、大雨などと重なったりした際の対応について

→雨雲レーダー等で気象情報を確認して、安全を第一に考え必要に応じて留め置くこともあります。その際はホーム&スクールで連絡します。

・いじめ対策について紙面では毎年見っていますが、教職員が積極的に活動しているのかはわかりません。

→毎週水曜日にいじめ対策委員会を実施しています。ここでは、各学年から児童・生徒の様子を伝えるとともに、いじめ事案については適切に情報共有を図り、組織として対応を検討しています。また、定期的に教職員対象のいじめの未然防止、早期対応に関する研修を行っています。

・いずみの森の子供で、浅川で遊んでいる子を見かけます。川の事故が多くなっているため心配です。

→全校及び学級にて水難事故防止の安全指導を、確実に実施しています。ご家庭での指導もお願いいたします。

・運動会で走の競技の充実を図ってほしい。

→運動会で徒競走がなくなった経緯は、本校のように人数の多い学校では時間がかかってしまう種目であるため、近年の暑さ対策で複数日の運動会の実施は安全面から難しくなったからです。11 月に青少対主催のわくわくランニング大会で徒競走の種目がありますので、ぜひご参加ください。

・運動会で赤組だけ保護者が子供のところにいけなかった。

→来年度に向けては今年度の反省を踏まえて提案させていただきます。

・運動会の参加人数を 1 家庭 2 人から 4 人に増やしてほしい。

→このような要望も踏まえたうえで、全体の運営上の安全面を考慮しながら提案させていただきます。

・着衣水泳の授業を毎年やってほしい。

→プールの修理が終わり次第、水泳授業の計画を立案し、提案させていただきます。

・着替え場所が少なくて困るという声が子供たちの間で上がっている。

→現在、男子の着替え場所は教室です。大体育館の更衣室等も使用しながら対応していきます。

・1 年生など幼く発達にやや不安がある児童への対応が、足りていないと思います。

→個別支援委員会、特別支援コーディネーターを中心に、担任だけでなく組織で対応してまいります。

・放課後に子供たちが安心して過ごせる居場所を校内に設けていただけると助かります。

→放課後こども教室推進委員会を中心に、現在毎週水曜日と、月曜日・金曜日も可能な限り実施しています。

・放課後こども教室の中学生ボランティアが少ない。

→再度放課後こども推進委員会からのチラシを配り、生徒の協力を呼び掛けていきます。

・クラス・学年で出ている感染症は、学級閉鎖になる前に人数がある程度いたら早めに教えてほしい。

→流行が見られ始めたら、ホーム&スクールで注意喚起していきます。